



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第1号

令和4年4月7日発行
千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

進級・入学の新年度のスタートにあたり

校長 山口 鉄也

4月6日の始業式で令和4年度の学校生活がスタートしました。また、7日には第39回目の入学式も無事に終了し、新たに204名の新入生を迎え、全校生徒590名の船出となりました。

貝塚中の生徒には、中学校生活を通じ、思い出とともに多くのことを学んでほしいと願っております。そのためには、自分の力で正しい判断をし、多くのことにチャレンジし、友人をはじめとする周囲の人との協力や、思いやりの心をもつことが大切だと思っています。

我々職員は、保護者の皆様とともに手を携え、地域の皆様のご協力をいただきながら、生徒の成長を見守っていきたくと考えております。新型コロナ禍の生活の中で、先の見通しがまだつかない中ですが、生徒や学校の様子でお気づきの点は是非学校にご連絡ください。どうぞ、よろしくお願いいたします。

令和4年度 始業式 校長講話より

みなさん、改めまして「おはようございます。」3月に卒業生、そしてお世話になった先生方との別れがあり、寂しい気持ちでスタートをしている生徒の皆さんも多いことと思います。しかし、先ほどご紹介いただいた職員、そして、明日は新入生が希望を胸に入学してきます。新型コロナ禍の中でのスタートにはかわりありませんが、ぜひ、出会いを大事にして、実りの多い1年にしていきましょう。

2年生の皆さんには、先輩となることを自分自身への励みにして、昨年の経験をもとに、さらに成長できるように頑張ってくださいと思います。特に部活動や委員会活動等での身近な存在として新入生を優しく導いて欲しいと願っています。

3年生の皆さんは、義務教育の「まとめの1年」となります。この1年を充実した、そして思い出深いものにするために、どのように生活することが望ましいのかを考え、行動を实践して欲しいと思います。

今年度のスタートにあたり、次の3つのことを皆さんに伝えたいと思います。まず、1つ目は、現在の貝塚中学校の伝統は、上級生を下級生が尊敬し見習う校風が根付いていることです。その校風の中で、各自が自分の可能性を広げ、将来に希望をもって歩んでいただけることが、私たち教職員の1番の願いです。

2つ目は、私たちの生活の土台は、「人との関わり」によってつくられていく。ということです。ICTの活用や技術の向上を大切にしていきながら、同時に周囲の人に向ける、思いやりや感謝の気持ちをそれ以上に大事にして欲しいと思います。

3つ目は、基礎・基本の充実です。各教科の学習も部活動についても、基本を大事にすることと、それを継続することが私たちの成長には欠かせません。

今年1年が終わるとき、「このクラスでよかった。」「この学年でよかった。」「貝塚中でよかった。」と言えるように、頑張ってください。皆さんの今年1年の活躍に大いに期待しています。

※配付学校便りの裏面には令和4年度職員一覧が掲載してあります。